

一般財団法人 明石コミュニティ創造協会 2018 年度事業報告書

総括

2017 年度が複合型交流拠点ウイズあかしの指定管理運営を始めた初年度で「基盤づくり」の1年だったことを考えると、2018 年度は指定管理事業、地域自治の支援事業ともに新たな展開がすすみ、様々な面で「拡充」した1年でした。

まず、特筆すべきは、ウイズあかし1周年感謝祭を6月に開催できたことです。「市民みんなでつくるウイズあかし」を大切にしている当法人らしく、1週間をかけ延べ215名の市民とともに5万個のドミノを並べました。多くの市民とともに1周年を祝うことができたとともに、改めてウイズあかしを周知する機会にもなりました。

また、ウイズフェス2019として、2・3月に大型イベントを複数開催出来ました。中でも市民講師育成事業としての「みんなの講座」を講師のすそ野を広げることを目的として開催した「みんなの学校」では、3月2・3日に市民講師が集まり、趣味や特技を活かした37の多彩な講座が開催されました。みんなの学校終了後は、市民講師にチャレンジをしたいという市民からの問い合わせが増えており、少しずつ「ウイズあかしに来るとチャレンジを支援してもらえる」ということが周知され始めたことを感じています。このように事業内容の質向上とともに、ウイズあかしの貸室稼働率も前年度比約4ポイント向上するなど、活動拠点としても認知度が向上しました。

さらに、地域自治の支援事業においても、新たなチャレンジをした1年でした。ジチラボと題した勉強会を通じて、これまで蓄積してきた校区まちづくり組織支援のノウハウを見える化し、「地域づくりを支援する人のためのケースブック」として冊子にまとめることができました。総務省が設置する地域運営組織に関する研究会の研究対象になり、その後、内閣官房主催の「小さな拠点フォーラム」で事例発表の機会を得るなど、全国的に注目されはじめた1年でもありました。

「事業3年」という言葉があるように、3年が一つのタームだと考えています。2017年度が基盤づくりの年だとすると、2018年度は拡充の年であり、2019年度は仕上げの時期、かつ次のタームに向けての準備期間だといえます。2019年度は次のタームに向けた重要な1年だととらえ、拡充した事業の「選択と集中」を行い、これまで以上に市民と連携をしながら市民のエンパワメントに向けた様々な取り組みにチャレンジしていきます。

1. 複合型交流拠点ウィズあかしの運営（公共施設の管理運営事業）

指定管理者として、市民の生涯学習活動の支援、男女共同参画社会の形成促進並びに、市民活動の支援を目的に、指定管理業務に取り組んだ。市直営時の 2016 年度 59.4%であった有料施設の稼働率は、2017 年度 64.6%、2018 年度 68.7%と順調に増加している。

また、総括にも記載したように、ウィズあかしの 1 周年感謝祭やウィズフェス 2019 などのイベント開催を通じて、利用者の幅を広げることができた。

事業については、これまでの事業を引き継ぎつつも各講座終了後に交流会を開催、SNS を活用し広報の方法を変更するなど、新たな展開をすすめている。特に男女共同参画に関する事業として、潜在ニーズが高いと予想される、男性カウンセラーによる「男性のための電話相談」を 1 月から始めた。

（1）ウィズフェス 2019

今年度は昨年度からさらにパワーアップさせ、4 本のイベントを「ウィズフェス 2019」として開催した。市民活動団体による交流が生まれた「ウィズミーツ」、新たな学びの場の創設を目指した「みんなの学校」、市内外の歴史好きが集った「あかし楽歴史講座特別編 SHIRO FES」、新たな地域づくりについて深く議論した「ジチラボ plus」など、ウィズあかしの持つ情報や人材、ネットワークを市民に開放・共有し、さらに拓げていく貴重な機会となった。

【実施内容】

	開催日	イベント名	内容	参加者数 (延べ人数)
1	2月3日(日)	ウィズミーツ	市民活動団体・行政関係機関によるステージ発表、ブース出展やパネル展示による活動の PR と参加者同士の交流やつながりづくりを支援する。 出展団体：43 団体（登録団体） 7 団体（行政関係等）	約 1,500 名
2	3月2日(土) 3月3日(日)	みんなの学校	市民講師を募り、原則当日参加のオープンな「学校」を開催。全 37 講座	450 名
3	3月2日(土)	あかし楽歴史講座特別編 SHIRO FES - 400 年前、いよいよ城づくり始まる。 -	①2018 年度あかし楽歴史講座 まとめ（宮本博氏） ②明石城ができるまで （多田暢久 氏・宮田逸民 氏） ③パネルディスカッション ④明石城の見どころ	148 名
4	3月3日(日)	ジチラボ PLUS - 地域自治のこれから	ゲストスピーカーによるレクチャー、 テーマ別分科会など	61 名

(2) ウィズあかし 1 周年感謝祭の開催

1 周年記念として、利用者に感謝の意を伝えることを目的に、みんなの 1 歳写真展示や 5 万個のドミノにチャレンジ、アスピア明石 1 階アトリウムコートを使った記念式典などを開催した。アスピア明石館内にある各関係機関と協力し、日頃ウィズあかしを利用することの少ない方たちにも、施設全体を知ってもらえる機会となった。特に、5 万個のドミノチャレンジでは、市民の参加意識と連帯感を高めることができ、感動の雰囲気の中フィナーレを迎えることができた。今後、ドミノは地域活動やチームビルディングのツールとして効果があると期待される。

【実施内容】

開催日	テーマ	内容	参加者数 (延べ人数)
5 月 29 日～6 月 2 日	つながる、みつかる、 うまれる week	① みんなでドミノ ② メッセージ付き写真の展示など	215 名
6 月 3 日	1 周年お祝い日	① アトリウムステージ ② 1 周年感謝セレモニー ③ みんなのなんでも 1 歳写真展 ④ ドミノフィナーレなど	約 1,000 名

(3) 多様な交流の場「クロスカフェ」の開催

誰でも集うことができ、気楽に話し合える「つながりサロン」、ワークや読み聞かせ、読書など多彩な内容で開催された「カフェ」シリーズ。新たな価値観に出会う場となった。

【実施内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
毎月第 1・3 木曜日	つながりサロン	市民サポーター (ボランティア)	—	137 名
4 月 25 日 (水) 10 月 20 日	おとなのぬりえカフェ	女性のための相談室 カウンセラー	33 名	22 名
6 月 16 日 (土) 12 月 12 日 (土)	コラージュカフェ	女性のための相談室 カウンセラー	14 名	13 名
6 月 30 日 (土) 10 月 6 日 (土)	異文化交流カフェ	マヌエル・カンサーヤ氏 他	—	130 名
8 月 8 日 (水) 2 月 6 日 (水)	絵本カフェ	女性のための相談室 カウンセラー	26 名	17 名
5 月 30 日 (水) ～3 月 28 日 (木)	ママ＆パパのための 読書カフェ (全 6 回)	—	58 名	45 名

(4) 市民みんなで作るウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の設置

ウィズあかしは、指定管理業務の仕様の中で、市民参画による運営を求められている。同時に、指定管理者である当法人は、「市民参画をプロデュースすること」をミッションとしていることから、多様な市民の意見が反映され、市民と一緒に運営していくウィズあかしを目指して、ウィズあかし運営委員会「市民みんなで作るウィズあかしを考える会議」を設置した。

◎委員募集期間：2018年3月4日（日）～4月15日（日）

◎委員人数：15名

【開催内容】

	開催日	開催時間	内容	参加者数 (延べ人数)
第1回	8月20日（月）	17:00～ 20:15	① 自己紹介 ② 報告「ウィズあかしのあゆみ」 ③ 報告「ウィズあかし運営委員会の役割」 ④ 意見交換「ウィズあかしに期待すること」 「こんなセンターだったらいいな」	13名
第2回	11月11日（日）	13:00～ 15:00	① 基調講演 中川幾郎 氏 テーマ「これからのウィズあかしに期待される姿 ～複合型の可能性を開く～」 ② ワークショップ ・複合型交流拠点ウィズあかしに期待すること ・こんな場になればいいな	9名
第3回	2月12日（月）	18:00～ 20:15	① 報告「これまでの振り返りとこれからのウィズあかし」 ② 意見交換「2019年度の取り組みについてのアイデア」	12名

(5) 施設管理

① 貸室（有料施設）の運営

開館日数	307日間	9月4日の台風21号の際は、終日臨時休館とした
来館者数	249,128名	(内訳) 有料施設：172,262名 無料施設：10,009名 フリースペース：66,857名
稼働率	68.7%	明石市生涯学習センター：66.2% あかし男女共同参画センター：76.6%

③ 営利料金の導入

個人や市民活動団体が、貸室の予約を取りやすくするために、10月から「営利料金」を導入した。

営利料金が適用されると、営利団体がホール以外の貸室を利用する際に、備品代を除く貸室の利用料金が2倍になる。営利料金を導入することに先立ち、3月から丁寧に周知を行ったことにより、利用者からの不満の声は上がっていない。

③ 満足度アンケート調査の実施

ウィズあかしの現状を把握するとともに、利用者の潜在的なニーズを把握するためにウィズあかし利用者満足度アンケート調査を実施した。

◎期 間：2019年3月15日（金）～4月14日（日）

◎調査方法：ウィズあかし5カ所にアンケート用紙と回収箱を設置し回収した

◎回 答 数：581件

② 貸室別稼働率

部屋名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
学習室 701	2018	66.7	64.7	73.7	71.8	69.8	82.5	84.0	86.5	62.8	72.9	79.9	78.4	78.4
	2017	63.5	57.9	82.0	99.0	89.3	72.4	75.0	75.0	70.1	71.3	85.4	72.2	74.9
	2016	60.0	59.0	67.0	67.0	61.0	70.0	69.0	70.0	67.0	75.0	76.0	70.0	67.6
学習室 702	2018	69.2	74.4	91.0	75.6	70.4	81.3	87.2	84.6	71.8	84.7	88.9	79.0	80.1
	2017	30.8	51.3	73.3	95.7	84.9	57.7	75.6	82.1	72.2	69.4	81.9	81.5	70.1
	2016	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学習室 703	2018	56.5	70.5	82.1	71.8	70.4	79.5	85.9	82.1	74.4	79.2	83.3	74.1	76.5
	2017	61.5	69.2	85.7	94.3	88.9	70.5	69.2	71.8	65.3	76.4	88.9	75.3	75.4
	2016	54.0	60.0	71.0	75.0	67.0	72.0	77.0	76.0	67.0	88.0	81.0	43.0	68.8
学習室 704	2018	57.9	54.5	80.1	69.9	64.8	78.9	80.1	82.7	66.7	72.9	72.6	69.8	70.8
	2017	60.9	63.5	76.6	55.2	65.0	87.1	76.9	76.9	68.1	64.6	79.2	71.0	69.3
	2016	60.0	64.0	73.0	73.0	64.0	70.0	79.0	79.0	63.0	69.0	81.0	67.0	70.2
学習室 801	2018	75.3	64.1	84.6	76.9	67.3	88.7	89.1	93.6	76.9	76.1	77.1	82.6	79.4
	2017	71.2	71.7	82.6	67.0	70.0	74.4	76.3	83.3	70.8	68.8	80.6	84.6	75.0
	2016	75.0	79.0	82.0	82.0	70.0	78.0	84.0	88.0	75.0	75.0	90.0	75.0	79.4
学習室 802	2018	56.4	61.5	65.4	69.2	64.2	75.7	74.4	79.5	75.0	56.4	77.8	61.7	68.4
	2017	17.9	40.3	69.3	64.1	65.4	69.2	53.8	66.7	58.3	55.6	70.8	66.3	58.1
	2016	21.0	23.0	20.0	29.0	25.0	25.0	37.0	11.0	-	-	-	-	23.9
学習室 803	2018	52.6	48.7	62.8	66.7	58.0	65.3	74.4	79.5	65.3	64.1	79.2	70.4	65.6
	2017	60.3	59.5	56.4	61.5	63.8	60.3	64.1	67.9	55.6	50.0	68.1	65.0	61.1
	2016	61.0	74.0	73.0	75.0	70.0	74.0	69.0	82.0	68.0	70.0	79.0	60.0	71.3
学習室 804	2018	92.3	83.3	93.6	80.8	87.7	85.1	92.3	88.5	84.7	76.9	86.1	90.1	87.3
	2017	89.7	84.6	88.5	91.0	84.0	83.3	87.2	87.2	84.7	90.3	93.1	93.8	88.1
	2016	84.0	83.0	83.0	86.0	89.0	79.0	91.0	92.0	86.0	81.0	88.0	82.0	85.3
調理 実習室	2018	28.8	30.8	34.6	38.5	29.6	40.3	43.6	50.0	53.6	38.5	48.6	36.3	39.5
	2017	2.6	9.0	10.3	22.7	19.8	14.1	35.9	35.9	22.2	25.7	39.7	35.1	22.5
	2016	3.0	16.0	10.0	17.0	14.0	7.0	19.0	17.0	12.0	9.0	13.0	8.0	12.1
和室	2018	48.7	55.1	59.0	55.1	35.8	65.2	74.4	66.7	59.7	61.5	75.0	64.2	59.8
	2017	47.4	50.0	48.0	51.3	44.3	39.7	59.0	64.9	51.4	52.8	61.1	56.3	52.1
	2016	43.0	53.0	57.0	56.0	42.0	55.0	60.0	71.0	59.0	55.0	65.0	53.0	55.8
子午線 ホール	2018	43.2	51.3	65.8	67.9	54.3	62.9	65.8	71.4	54.4	47.2	49.3	51.9	57.3
	2017	52.6	55.1	46.1	66.7	48.1	33.3	62.8	68.1	55.6	45.8	65.4	43.2	52.7
	2016	35.0	34.0	39.0	44.0	47.0	46.0	51.0	52.0	45.0	27.0	43.0	35.0	41.5
リハー サルス タジオ	2018	36.8	50.0	52.6	44.9	43.2	54.2	67.9	64.1	55.6	54.2	45.8	48.1	51.4
	2017	35.9	44.9	48.5	50.0	57.5	41.0	44.9	55.1	55.6	55.6	66.2	54.3	50.7
	2016	34.0	42.0	56.0	40.0	57.0	58.0	65.0	64.0	70.0	65.0	58.0	44.0	54.4
音楽練 習室1	2018	75.6	70.5	79.5	75.6	77.8	88.9	85.9	88.5	79.2	81.9	69.4	74.1	78.9
	2017	74.4	71.8	80.3	78.2	85.2	91.0	84.6	75.6	80.6	83.3	84.7	81.5	80.9
	2016	96.0	97.0	89.0	80.0	79.0	93.0	94.0	82.0	87.0	90.0	87.0	83.0	88.5
音楽練 習室2	2018	46.2	34.6	41.0	39.7	60.5	74.6	66.7	56.4	48.6	58.3	50.0	54.3	52.5
	2017	39.7	53.8	54.3	46.2	49.4	38.5	44.9	55.1	51.4	54.2	63.9	44.4	49.5
	2016	39.0	53.0	51.0	54.0	52.0	62.0	60.0	52.0	48.0	61.0	61.0	56.0	54.1
全体	2018	60.4	58.7	70.8	66.1	62.1	74.9	77.9	78.6	66.0	68.5	71.4	68.6	68.7
	2017	50.6	55.9	64.4	67.4	65.4	59.5	65.0	69.0	61.6	61.7	73.5	66.0	64.6
	2016	51.2	56.7	59.3	59.8	56.7	60.7	65.8	64.3	62.3	63.8	68.5	56.3	59.4

③ 修繕

センター設置から十数年が経過し、各種設備の老朽化が進んでいる。特に電気空調関連は2017年度よりたびたび故障が続き貸室利用に影響がでていたため、2018年度に大規模な更新を実施した。空調系統ごとに平均2週間の工期が必要であり、その間は貸室をメンテナンス閉鎖した。目立ったトラブルなく工事を終え、収益や稼働率への影響も最小限にとどめた。

④ 保守・点検等

各設備の定期的な点検を実施し、必要に応じて修繕した。

点検日	点検内容	点検業者
4月4日	AVシステム・視聴覚機材保守点検	(株)大阪共立
4月9日	吸収式冷温水器保守点検	(株)アサヒファシリティズ
4月16日	冷却塔清掃	(株)アサヒファシリティズ
5月16日	中央監視設備点検	パナソニック ES エンジニアリング株式会社
5月21日	空調自動制御機器保守点検	(株)アサヒファシリティズ
7月2日	エアコンフィルター洗浄・取り換え	(株)アサヒファシリティズ
7月10日	空調室外機巡回点検	(株)アサヒファシリティズ、ダイキン工業(株)
7月17日	定期清掃	(株)アサヒファシリティズ
8月6日	冷温水器巡回点検	(株)アサヒファシリティズ
9月6日	ガス空調点検・清掃	(株)アサヒファシリティズ
9月18日	定期清掃	(株)アサヒファシリティズ
9月15日	排水管通管洗浄作業	(株)アサヒファシリティズ
9月29日	ガス空調フィルター取り換え	(株)アサヒファシリティズ
9月20日	ホール照明設備点検	(株)大阪共立
10月2日	空調エアネット・室外機点検	(株)アサヒファシリティズ
10月12日	舞台吊物装置保守点検	(株)大阪協立
11月19日	冷却塔清掃	(株)アサヒファシリティズ
11月26日	空調自動制御機器保守点検	(株)アサヒファシリティズ
12月5日	吸収式冷温水発生器定期点検	(株)アサヒファシリティズ
12月17日	定期清掃	(株)アサヒファシリティズ
1月7日	空調エアネット・室外機点検	(株)アサヒファシリティズ、ダイキン工業(株)
1月15日	エアコン室内機エアフィルター清掃	(株)アサヒファシリティズ
2月18日	冷温水機巡回点検	(株)アサヒファシリティズ
2月25日	9階ガス空調点検清掃	(株)アサヒファシリティズ
3月25日	定期清掃	(株)アサヒファシリティズ

⑤ ブース・フリースペースの運営

グループ活動スペース（ブースおく・てまえ）とフリースペースは、市民活動団体の主体的な活動を支援するために2017年4月から新しく設置したスペースである。グループ活動スペースは団体内の打ち合わせに使用できるようにしており、フリースペースはイベント実施や展示など、活動のPRができる。オープンスペースでの開催のため、多くの方に活動を知ってもらうことができ、その中から団体同士が共にイベントを行う事例が生まれるなど、新たに出会い、つながる場になっている。

◎イベント実施数：216件

◎来場者数：3,267人

⑥ 7階ラウンジの運営

ウィズあかし7階のラウンジに図書コーナーを設置した。また軽作業や打ち合わせが出来るように家具レイアウトの変更やハイカウンターを設置し居心地よい空間として整えた。その他、本の企画展示などをおこなうなど各事業に関連した学びの空間として整えた。今後は図書ボランティアとともに空間活用をすすめる。

2. 男女共同参画事業

昨年度に引き続き、相談事業を行っている強みを生かし、女性カウンセラーが現場でのニーズから企画した講座を実施した。目的や対象に合わせて、「クロスカフェ」や「女性のための相談室」とも連動し、展示や講座、ワークなどを組み合わせ、より多くの人に、必要な時に必要な情報が届くよう、きめ細やかな支援を行っている。

(1) 女性のための相談室

女性のための相談室では、女性のさまざまな悩みに対して女性問題カウンセラーが対応する「女性のための相談」、就業相談員による「女性のための就業相談」のほか、月に数回、弁護士やキャリアカウンセラーによる「女性のための法律相談」「女性のためのチャレンジ相談」を実施した。

「女性のための相談」の相談総件数は前年度比16%増の1,309件、なかでも面接相談件数は前年度比33%増、前々年度比では77%増となり、年々増加傾向にある。幅広い利用者のニーズに応えながら、ジェンダー問題解決と男女共同参画社会の実現に向けた女性の支援に注力している。

「女性のための就業相談」では、相談総件数は前年度比23%増で420件、そのうち新規相談件数は前年度比14%増の139件であった。また、今年度は講座の参加者に対するフォローアップとして「お仕事探し何でも相談会」を企画し、保育室にて子ども同伴での相談会を行ったところ、「子どもと一緒にじっくり相談できるのはありがたい」と好評で、相談会を機に就職につながった方もいた。

① 女性のための相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
火曜～日曜	女性問題カウンセラーによる女性の様々な悩みに対する電話・面接相談	電話相談	917 件 新規 241 件／再相談 676 件 ※内 DV 関連相談：93 件
		面接相談	392 件 新規 112 件／継続 280 件 ※内 DV 関連相談：147 件

② 女性のための法律相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
第 3 木曜日 (計 12 回)	女性弁護士による無料法律相談	面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ・離婚問題：20 件 ・DV：3 件 ・セクハラ：1 件 ・損害賠償：1 件 ・労働問題：1 件 ・その他：3 件 ・相続問題：4 件 ・夫婦関係：3 件 ・サラ金：1 件 ・金銭問題：1 件 ・隣人関係：1 件 計 39 件

③ 女性のための就業相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
火曜～日曜	女性就労相談員による相談	相談件数	420 件 ※新規相談：139 件

④ 女性のためのチャレンジ相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
毎月 1 回 (計 12 回)	女性キャリアカウンセラーによる個別面接相談 ※兵庫県との連携事業	面接相談	30 件

(2) 男性のための電話相談

「男らしさ」というとらわれの中で、誰にも言えず一人で悩みを抱え込んでしまっている男性に相談の場を提供するため、2019 年 1 月から開始した。

【実施内容】

実施日	内容	人数・件数内訳	
毎月 1 回 (計 3 回)	男性相談員による男性の様々な悩みに対する電話相談	電話相談	4 件

(3) 講座・セミナーの開催

① 多様性に関する普及啓発事業

従来の「らしさ」にとらわれない、それぞれの個性や価値観を認め合う社会を目指し、講座や展示を行った。

【講座】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6月30日(土)	人形劇カリンと うみのたからもの	絵本楽しみ隊フルーツパフェ	24組 60名	19組 48名
3月2日(土)	みんなで学ぼう LGBT	れいんぼー神戸 内藤れん氏 他2名	23名	20名

【展示】

開催日	テーマ	展示場所
6月21日～6月29日	男女共同参画週間	7階ウォールギャラリー
2月1日～2月10日	LGBT支援	
3月3日～3月7日	男女雇用機会均等法	

② 女性ためのエンパワメントセミナー

自分を大切に、相手を大切にする考え方を学ぶ講座を体験型で開催した。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6月22日(金)	第1部 母も私も自分らしく 第2部 あなたらしく生きるために	フェミニストカウンセラー 加藤伊都子氏	39名	28名
9月29日(土)	上手な怒りの対処法 ～あなたの怒りをプラスに変える～	フェミニストカウンセラー 小田切由理氏 鍼灸師 横山道子氏	45名	32名
3月9日(土) 3月16日(土) 3月23日(土)	自己尊重トレーニング ～色で自分の気持ちに寄り添う～	女性のための相談室 カウンセラー	20名	30名

③ 自分らしく働くための「就業」に関する講座

それぞれのライフステージにあわせた働き方を選択するための知識や方法を学ぶための講座を開催した。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6月30日(土)	女性のための働き方セミナー 「いま考える私のキャリアプラン」 ※兵庫県男女共同参画センター共催	社会保険労務士 高見香織氏	15名	13名

10月10日(水)	働きたいママの再就職準備セミナー ※ハローワーク明石共催	社会保険労務士 高見香織 氏	48名	40名
12月8日(土) 1月19日(土)	良い所探しセミナー (Part1、Part2) ※あかし若者サポートステーション 共催	あかし若者サポートステーション就労支援員 濱本美佐子 氏	10名 9名	4名 7名
2月9日(土)	～夢をカタチにしたい！女性のための～ 起業講座 Step 1 ※女性労働協会 協力	中小企業診断士 古屋由美子 氏	25名	20名
2月23日(土)	起業講座 Step 2 ※日本政策金融公庫明石支店 共催	(株)078 代表取締役 西山志保里 氏 中小企業診断士 宇田名保美 氏	27名	15名

④ クッキングアカデミー

調理を楽しみながら、明石の食文化を知ったり、親子の交流を図ったりと多種多様なプログラムとなるよう工夫して実施した。

【実施内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
7月29日(日) (8月26日に振替)	第1回～明石の夏野菜を使って～ 「おとうさんと AKASHI カレーをつくろう！」イクメン講座	食工房 Kayou 主宰 藤田華陽 氏	13組 29名	8組 19名
9月9日(日)	第2回～明石の海苔・お米を使って～ 「おじいちゃんと AKASHI お花巻きをつくろう！」イクジイ講座	日本デコずし協会デコ巻きマイスター 芝智子 氏	9組 21名	9組 21名
2月2日(土)	第3回～AKASHI でおはなしたべちゃえ～ 「絵本から飛び出す巨大クッキーをつくろう!!!」	一般社団法人キッチンコミュニケーション協会理事長 鎌倉恵子 氏	18人	14人
3月17日(日)	第4回～今年は B-1 グランプリ みんな大好き～ 「AKASHI 玉子焼きを一緒につくろう！」イクメン・イクジイ講座	あかし玉子焼ひろめ隊隊長 古志利宗 氏	14組 32名	14組 32名

(4) 他団体との連携事業

事業の実施や施設の運営に関して、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民の方々と連携し実施した。

【連携内容】

連携機関	連携内容
兵庫県	・女性のためのチャレンジ相談 (通年) ・女性のための働き方セミナー (6月30日)

ハローワーク明石	・女性のための就業相談（通年） ・働きたいママの再就職準備セミナー（10月10日）
あかし若者サポートステーション	・良い所探しセミナー（12月8日、1月19日）
一般財団法人女性労働協会	・起業セミナー（2月9日）
日本政策金融公庫明石支店	・起業セミナー（2月23日）

3. 生涯学習推進事業

世代や性別に関係なく、学びから明石のまちを好きになり、更にその学びを他人と分かち合うことで、まちに還元できるよう、様々な講座を開催した。

2018年度の新たな試みとして、あかし楽歴史講座では終了後に参加者、講師の交流の機会を開催し、双方向の関係づくりを進めた。徐々に、受講者同士の交流が生まれ、そこからあかし楽歴史講座特別編「SHIRO FES」でのボランティア活動に発展している。

みんなの講座では、デビューした市民講師の中から、中学校コミセンで講師を務めたり、自主運営を目指して登録団体制度を利用したりするなど、新たなステップに進む例がみられるようになった。少しずつ「ウイズあかしに來れば後押ししてもらえ」という周知が図られつつあるのか、講師デビューしたいという相談を比較的よく受けるようになっている。今後は、より気軽な学びの場を提供するために開催したみんなの学校と常設型のみんなの講座をうまく連動させつつ、市内の学びのネットワークづくりを進めていきたい。

（1）あかし楽歴史講座特別編「SHIRO FES—400年前、いよいよ城づくり始まる。—」の開催

2018年6～11月に開催されたあかし楽歴史講座「400年前、お城づくり始まる」（全10回）をまとめたダイジェスト版をもとに、築城400年を迎えた明石城の見どころや歴史学習をフォーラム形式で開催した。会場にはパネル展と明石城のジオラマ「城ラマ」（第9回講師二宮博志先生協力）を展示し、参加者の満足度の高い事業となった。

当日はボランティア8名に受付、場内外警備など運営補助に加わってもらうなど、今後、市民を講座に巻き込んでいく事例のひとつとなった。

◎開催日：2019年3月2日（土）

◎参加者数：148名（ボランティア含む）

◎講師：宮本 博 氏（神戸史学会会員）

多田暢久 氏（姫路城城郭研究所）

宮田逸民 氏（三木市文化財保護審議委員）

(2) みんなの学校の開催

みんなの講座の発展版として、過去のみんなの講座講師や、みんなの講座応募者、一般応募を対象に、特技や趣味を活かして講座を開催したい市民講師による講座を開催した。講座の内容は多岐にわたっており、教える側と教わる側が入れ替わるなど、まさに市民の力が発揮された事業となった。

◎開催日：2019年3月2日（土）、3月3日（日）

◎参加者数：450名

◎講座数：37講座

(3) 講座・セミナーの開催

① あかし楽歴史講座（全10回の連続講座）

本講座はあかし学実行委員会（委員10名）により企画・運営した。2019年度のテーマは「400年前、お城づくり始まる」。築城400年を迎える明石城をテーマに、活躍した人物や城下町について学び、まちの未来について考えた。今年度は、新しい試みとして講座終了後に講師との交流会を開催した。少しずつ学んだことを、ボランティア等の活動に活かしていくという雰囲気が高まっている。

◎応募者数211名 / 当選者数115名

【実施内容】

開催日	テーマ	講師	参加者数
6月23日（土）	明石城と城下町	神戸史学会会員 宮本博 氏	110名
8月11日（土）	船上から明石へ	姫路市城郭研究所 多田暢久 氏	87名
7月21日（土）	高山右近	高槻市文化財課 中西裕樹 氏	104名
8月4日（土）	宮本武蔵と明石	放送大学教授 魚住孝至 氏	105名
8月18日（土）	小笠原忠政（忠真）	京都大学大学院文学研究科准教授 三宅正浩 氏	104名
9月15日（土）	三木城と明石	三木市文化財保護審議委員 宮田逸民 氏	99名
9月29日（土）	高砂城と明石	高砂市教育委員会 清水一文 氏	85名
10月13日（土）	尼崎城と明石	尼崎市教育委員会 室谷公一 氏	84名
10月27日（土）	明石城をつくる	お城ジオラマ復元堂城郭復元マイスター 二宮博志 氏	86名
11月17日（土）	明石城を未来へ	滋賀県立大学教授・城郭遺産による街づくり協議 会理事長 中井均 氏	78名

② 市民企画「みんなの講座」

市民自らが趣味や特技を活かして講師となる講座の企画を募集。事前研修・会場確保・広報等の支援を行い、8名が講師デビューをした。

◎実施数：8企画（応募数28企画）

【実施内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
9月23日(日) 11月25日(日) 2月10日(日)	20年後を見据えた最新技術への挑戦	システムエンジニア 田中昌平 氏	16名	27名
10月17日(水) 11月1日(木) 12月6日(木)	助産師によるおかあさんから子どもに伝える性の話	助産師 國廣晴美 氏、 井上千秋 氏	13名	38名
10月25日(木) 11月8日(木) 11月22日(木)	家族で楽しむ1分動画の作り方講座！～ママパパ必見！家族の今を映像に残そう～	映像クリエイター 森邦和 氏	17名	38名
11月9日(金) 11月30日(金) 12月14日(金)	誰でも参加できる SST	作業療法士 岸本徹彦 氏	16名	26名
11月17日(土) 11月24日(土)	そろそろ始めてみたい SNS 講座	IT ブランディングデザイナー 山本ゆりこ 氏	23名	35名
11月18日(日) 12月16日(日)	小さな野望をこっそり実現やりたいこと・かなえたいことの実現練習&気持ちをゆるめるボディワーク	タッピングタッチインストラクター かまた 氏	11名	9名
11月25日(日) 12月2日(日) 12月23日(日)	“色”を学ぼう！～似合う色で、身も心も明るく元気に！～	NPO 法人色彩生涯教育協会インストラクター 小松 由佳 氏	36名	20名
12月11日(火) 12月18日(火)	話し方でイメージチェンジ	ブライダルイベント司会業 原田 有紀 氏	37名	28名

(4) 他団体との連携事業

事業の実施や施設の運営に関して、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民の方々と連携し実施した。

【連携内容】

連携機関	連携内容
明石市立図書館	クッキングアカデミー第3回 AKASHI でおはなしたべちゃえ～ 「絵本から飛び出す巨大クッキーをつくろう！！」(2月2日)

4. 市民活動支援事業

2018 年度は登録団体制度における支援メニューの拡充など、登録団体への具体的な支援について検討した一年だった。2月に開催したウィズミーツでは、多くの団体が「つながり」を意識して参加する

など、市民活動を支援する拠点としての認知度が少しずつ高まってきていることを感じる。

ウィズミーツでは、団体の活動を PR するとともに団体同士がより深く交流し、次へとつながるきっかけづくりを行った。イベント後に、具体的な団体同士のコラボレーション事業につながったという声も聞いている。

(1) 登録団体制度

フリースペースやブースおく・てまえの優先利用、メーリングリストを活用した情報交換利用、グループロッカーの利用など、様々なサポートを行った。2018 年度は新たに登録団体の情報交換・意見交換の場「ウィズゆう」が発足。年 3 回開催し、団体同士の交流の場となった。

◎登録団体数：159 団体

【サポート内容】

メニュー	内容
スペース∞のイベント利用	イベントでの利用ができる
グループ活動スペース(スペース∞、ブースおく・てまえ)の利用	団体内の打ち合わせや作業のスペースが利用できる
メーリングリストの利用	登録団体のイベント情報を共有できます。自分の団体の PR はもちろん、他団体の活動の情報収集もできる
グループ活動展示スペースの利用	団体の活動紹介や作品の展示ができる
イベントの受付代行	団体の主催するイベントの申込代行受付を利用できる(有料)
ロッカーの利用	大・小 2 種類のロッカーが利用できる(有料)
印刷室の利用	モノクロ印刷、カラー印刷、長尺印刷
チャレンジグッズの貸出	ドミノ、ピブス、ワークショップグッズ、交流活動グッズ、書籍、えんたくん(テーブル型模造紙)

(2) 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

個人の「学びたい」や、団体の活動、次のステップに展開するためのアドバイス、団体同士のコラボを促すコーディネートを行った。また中間支援助成事業を活用して、「市民活動団体のステップアップマップ」を作成した。これは、市民活動団体がさらなるステップアップをするために、広報、つながり、団体運営について次のステップを示した冊子である。団体それぞれが今の活動状況を振り返り、次の活動に繋げるために今後の相談・コーディネートで活用する予定である。

全体を通して、徐々に相談件数が増えるなど、認知度が高まってきている。中には団体の認定 NPO 法人格取得に関する相談や規約改正に関する相談など、より専門性が必要な相談が増えてきている。

【実施内容】

メニュー	件数
生涯学習、市民活動に関する相談	89 件
生涯学習、市民活動に関するコーディネート	23 件

(3) ウィズミーツの開催

市民活動団体の活動 PR や団体同士がつながるきっかけとして開催した。ブース出展、ステージ、パネル展示を中心に日頃の活動紹介と新たなつながりづくりを進めた。その一助として、コンシェルジュブースとして、個人や団体のつながりたいをサポートしたり、交流会を設けて団体同士が出会う場をつくった。

◎開催日：2019 年 2 月 3 日（日）

◎内 容：市民活動団体による活動展示、つながる機会づくり

◎参加者：1,500 名

(4) 講座・セミナーの開催

① 地域活動・市民活動スキルアップセミナー「私たちの活動を広げる広報セミナー」

グループ登録団体やまちづくり協議会など市民活動に関わる方々の広報力を向上を狙って 2 回のセミナーを開催した。外部講師を招いた回と法人スタッフで実施した回があり、セミナー後も広報に関する相談が続くなど、効果的なセミナーであった。

【実施内容】

回	開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
第 1 回	10 月 24 日（水）	活動がもっと伝わる、チラシづくり	トキオカデザイン 時岡佑太 氏	17 名	15 名
第 2 回	12 月 7 日（金）	活動をもっと広げる、Facebook 活用セミナー	明石コミュニティ創造協会 スタッフ 宮内龍太郎・四方 かおり	13 名	11 名

② 地域活動・市民活動スキルアップセミナー「効果的な会議のつくり方」

校区まちづくり組織や市民活動団体が自立した組織運営を行っていけるよう、民主的で効率よく意思決定を行うための「会議」の進め方に関するセミナーを開催した。

【実施内容】

回	開催日	テーマ	講師	参加者数
第 1 回	11 月 9 日（金）	実際に体験してみよう！ 話したくなる会場作り	当法人スタッフ 宮内龍太郎	7 名
第 2 回	11 月 22 日（木）	みんなが話しやすい コミュニケーション作法	当法人スタッフ 佐伯亮太	4 名
第 3 回	11 月 29 日（木）	準備で決まる！ 会議資料の作り方	当法人スタッフ 柏木登起	7 名

第 4 回	12 月 13 日 (木)	空中戦から地上戦へ 議論の見える化	当法人スタッフ 木上裕貴	4 名
-------	---------------	----------------------	-----------------	-----

③ まち活パワーアップセミナー

明石市外の先進事例から学びまちづくりに活かすためのセミナーを開催した。

【実施内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6 月 19 日 (火)	小さな活動から始めるまちづくり	箱の浦自治会まちづくり協議会 会長 岡保正 氏 他 3 名	20 名	17 名
10 月 26 日 (金)	地域で支え合う仕組みづくり	NPO 法人福祉ネットワーク西須 磨だんらん 理事長 日埜昭子 氏	10 名	12 名
1 月 25 日 (金)	世代をつなげる地域づくり	十河校区コミュニティ協議会 事務局長 崎山美幸 氏 他 1 名	3 名	11 名

5. 地域自治の支援事業

2018 年度の地域自治支援は明石市内の校区まちづくり組織の支援を進めるとともに、これまでの支援について振り返り、私達の役割や目指すものを改めてまとめ直す 1 年であった。大きな一歩としてひょうごボランティア基金助成事業 (NPO 法人等向け) の中間支援助成において「地縁型コミュニティの量的・質的拡充にむけた地域支援のシンクタンク機能の立ち上げ」として採択され、ジチラボと題した地域づくり支援に関する勉強会を重ねながら、これからの地域づくり支援についてケースブックとしてまとめた。

各校区の支援としては、すでに一括交付金を受けている 11 校区は防災、福祉などをキーワードにさらなる活動に向けた支援を進め、計画書策定を進めている 4 校区は組織強化や地域事務局の立ち上げ支援をおこなった。

また全体支援では、まち活パワーアップセミナー、広報セミナーなど、地域自治組織がさらなる一歩を踏み出すための学びの場を提供した。その他、地域事務局連絡会議では市内のそれぞれの事務局がどのような役割を担っているかについて議論するなど、地域の状況に合わせた支援をおこなった。

1. 校区まちづくり組織の支援 (校区直接支援と全体支援)

(1) 校区直接支援

校区まちづくり組織の状況に合わせて部会活動の支援やまちづくり計画書策定の支援、地域事務局の立ち上げ支援等、地域に伴走しながら支援をすすめた。事業の実施にあたっては、月に 2 回明石市コミュニティ推進課との会議を開催し密に情報共有をおこなった。また地域の状況に応じて、総合安全対

策局、社会福祉協議会など明石市の関連部局とも綿密な連携をすすめた。

① 地域交付金受託校区

交付金受託校区は主に活動強化の支援を行い、地域事務局が設置されている場合には事務局強化の支援も進めた。校区ごとに特徴のある取り組みや活動があり、それらを校区間で情報共有できるように支援を進めた。

校区	支援内容
松が丘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係性の構築 ・ 組織体制の見直しに関する助言 ・ 部会活動に関する情報提供 ・ 地域事務局設置に向けたアプローチ
中崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な部会活動に関する情報提供 ・ まち会ニュースに掲載する校区内団体の座談会コーディネート
和坂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動に関する情報提供 ・ 視察受け入れに関するコーディネート ・ 市連合広報誌第4号特集での取材
花園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動に関する情報提供及び助言 ・ 組織体制の整理に関する助言 ・ 地域事務局の職員交代に関する助言
山手	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係性の構築 ・ 市連合広報誌第5号特集での取材
鳥羽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校区コミセン業務移管に関する支援 (地域事務局の体制再構築、職員雇用に関する助言など) ・ 組織体制の整理に関する助言
江井島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係性の構築 ・ 2期まちづくり計画書の作成に関する助言
魚住	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区自主防災組織の構築支援 ・ まち協ブランディングに関する助言・コーディネート
錦が丘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係性の構築
錦浦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域事務局体制についての助言 ・ 部会活動に関する助言
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域事務局設置に向けたアプローチ

② まちづくり計画書策定校区

まちづくり計画書を策定するための各種会議や意見交換の場づくり、組織強化につながる支援や、今後の活動を検討していくための情報提供などを中心に支援した。

校区	支援内容
朝霧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画書作成の支援 ・ 校区意見交換会の企画・進行 ・ まちづくり協議会 理事座談会の進行支援

林	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書作成の支援 ・校区意見交換会の企画・進行 ・まちづくり協議会設立に向けた組織づくり支援
藤江	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書作成の支援 ・住民意見交換会の企画・進行 ・まちづくり協議会への移行に向けた組織体制の検討支援 ・地域事務局立ち上げに関する支援 ・防災活動に関するコーディネート ・広報誌発行に関する支援
二見北	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書プロジェクト会議の運営、進行支援 ・校区住民に向けたアンケート調査の実施に関する支援 ・校区意見交換会の企画・進行

③ その他校区

まちづくり計画書策定に着手する前の校区に、組織体制や活動立ち上げなど各校区のまちづくり組織に必要な支援を実施した。これまで関わりの薄かった校区から直接相談があるなど、今後につながる支援が進められた。

校区	支援内容
貴崎	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備に関する助言 ・事務局体制と業務に関する助言 ・組織体制に関する助言
大久保	・まちづくり計画書着手に関する事前準備支援
大久保南	・連合自治協議会の組織運営に関する助言
沢池	・mama's キッチン nono での会議運営支援
二見	・まちづくり計画書着手に関する事前準備支援

(2) 全体支援

全体支援は主に①コーディネート・相談、②情報共有・発信、③人材育成・活動支援、④他機関との連携の4つをすすめた。①コーディネート・相談ではウィズあかしで開催したウィズミーツや各種事業に相乗りする形で校区まちづくり組織の広報ブースをつくるなど校区まちづくり組織の知名度上昇をねらいました。②情報共有・発信では、まちナビ AKASHI をより使いやすくする改修や、連合まちづくり協議会が発行する広報誌「明石のまちづくり」の制作・発行支援を行った。③人材育成・活動支援では地域事務局会議の運営や各種セミナーを開催した。

① コーディネート・相談機能

■ 「ウィズミーツ」における校区まちづくり組織の連携強化・普及啓発活動

複合型交流拠点ウィズあかしで主催した、ウィズミーツにおいて、参加者に向けて校区まちづくり組

織の PR を行った。会場にはコンシェルジュブースを設置し相談・コーディネートに対応するとともに、団体同士がつながれる「つながりたいボード」を設置し地縁型組織と分野型組織がつながるきっかけをつくった。

【実施内容】

日付	内容	参加者
2月3日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・校区まちづくり組織のパネルによる PR ・校区まちづくり組織のパンフレット等の配架 ・分野型組織によるパネル展示、ブース・ステージ発表 ・コンシェルジュによるコーディネート 	約 1,500 人

■個別コーディネート・相談の実施

- ・校区まちづくり組織へ、講師・活動実践者として分野型組織などをコーディネート
- ・丸亀市など他地域からの視察団を、活動事例として校区まちづくり組織をコーディネート

② 情報共有・発信機能

■「まちナビ AKASHI」の改修と運用支援

2017 年度に公開した地域ポータルサイト「まちナビ AKASHI」について、約 2 年間の運用から明らかになった改善点について、より運用しやすいように改修を行った。また、まちナビ AKASHI 内に連合まちづくり協議会の設置も完了した。それらに伴い、各校区で情報更新ができるように、校区ごとにまちナビ AKASHI の運用支援をすすめた。

【支援内容】

- ・各校区まちづくり組織への使い方や運用方法の支援
- ・明石市連合まちづくり協議会理事会で改修内容について報告

まちナビ AKASHI 改修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・連合まちづくり協議会サイトを設置した ・校区サイトに固定ページが追加可能となった ・スライドショー画像を校区で更新可能とした ・全体的なデザインを見やすく変更した

■明石市連合まちづくり協議会広報部会の運営支援

明石市連合まちづくり協議会が発行する広報紙「明石のまちづくり」の 4、5 号の発行について、事務局を担い、2 回広報紙を発刊した。

【「明石のまちづくり」発行内容】

	発行年月	内容	発行部数
第4号	2018年10月	特 集：和坂校区に取り組み コラム：校区まちづくり組織に関する福祉の団体・取り組み紹介 その他：自治会部会、広報部会より	14,000部
第5号	2019年4月	特 集：山手校区の取り組み コラム：まちナビ AKASHI のリニューアル 市内校区まちづくり組織の現状について その他：視察研修、自治会部会より	13,000部

■先進事例の調査研究

全国の小規模多機能自治や地域運営組織の情報等を収集し、随時各校区まちづくり組織の支援の参考とした。

- ・小規模多機能自治推進ネットワークへの参加による情報収集等
- ・視察研修の実施（雲南市、一関市等の地域運営組織と中間支援組織の視察や、各種研修会に参加）

■その他、情報提供・情報発信

- ・各種助成金情報の提供
- ・ウィズあかしにおける「校区まちづくり組織」情報発信コーナーの設置
- ・先進事例の提供

③ 人材育成・活動支援機能

■地域事務局連絡会議の運営支援

各地域事務局の情報交換と、地域事務局を担う人材のスキルアップを目的として明石市コミュニティ推進課によって開催された地域事務局会議において、事前に地域事務局の現状についてヒアリングをおこなうなど、開催内容の検討、当日の運営を行った。

【支援内容】

- ・地域事務局連絡会議開催までの企画・日程調整
- ・地域事務局連絡会議の運営・報告まとめ
- ・地域事務局の実施状況ヒアリング

【地域事務局連絡会議開催内容】

	日付	内容	参加者
第1回	7月13日(金)	・参加者自己紹介	24人

		「地域事務局の役割」について意見交換	
第2回	1月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり推進組織 自己点検シートについて ・各種補助金の取り扱いについて ・2019年度からの自治会便の見直しについて ・中学校区コミセン運営体制見直しのモデル実施について 	25人

■明石市連合まちづくり協議会「防災懇談会」の運営支援

連合まちづくり協議会主催で開催された、各校区の防災活動に取り組むメンバーが集う「防災懇談会」において、当日の分科会の進行などで運営支援を行った。

◎実施日：2019年3月2日（土）

【支援内容】：防災懇談会開催への働きかけ

開催当日の意見交換会の進行補助（ファシリテーター）

■チャレンジグッズ貸出制度

地域の活動において、必要な物品の貸出制度を立ち上げた。4色のビブスは防災訓練や夏祭りで貸出が目立ちました。その他、えんたくん等ワークショップグッズ、地域づくり関連図書も整えた。

④ 他機関との連携

■明石市連合まちづくり協議会との連携

明石市連合まちづくり協議会の総会、理事会、懇親会、視察研修などに参加し、校区まちづくり組織の代表者と信頼関係構築をすすめた。

■明石市社会福祉協議会との連携

月に1度、明石市社会福祉協議会（総合支援センターの生活支援コーディネーター）、コミュニティ推進課、当法人での会議を重ね、地域福祉と地域づくりの支援や役割分担について議論を重ねた。

■明石市総合安全対策室との連携

魚住校区での防災に関する取り組みに関連して総合安全対策室と協働した。浜西自治会の防災取り組みや、校区での防災訓練に協働で支援をすすめた。

(3) 地域づくり支援者の育成

中間支援助成補助金の企画事業として採択された地縁型コミュニティに関するシンクタンク機能として、当法人がこれまで取り組んできた地域づくり支援について、ジチラボを通して一般化しケースブ

ックとしてまとめた。またジチラボ plus と題したフォーラムを開催し、地域づくり支援のこれからについて議論をすすめた。ジチラボ、ジチラボ plus とともに県外からの参加があるなど、当法人の知名度を一気に向上させた。

■地域づくりを支援する人のためのケースブックの発刊

2012 年から明石コミュニティ創造協会で行ってきた明石市内の小中学校区単位の地域づくり支援でやってきたこと、こだわってきたことを冊子にまとめた。地域住民が自分ごとになり（当事者意識を持ち）、自分たちの手で地域づくりを進めていくために、支援者が気をつけるポイント、心構えなどを事例を交えながら紹介している。全国各地から発注いただいた。

◎ページ数：44 頁

◎価格：1 冊 1,000 円

■地縁型コミュニティの支援のあり方を考える研究会「ジチラボ」の開催

【ジチラボ～みんなでつくるみんなの自治～実施内容】

開催日	テーマ	講師	参加者数
7 月 27 日（金）	ジチラボ vol.1 視察レポート"島根県雲南市"	当法人スタッフ 宮内龍太郎・木上裕貴	22 名
9 月 27 日（木）	ジチラボ vol.2 地域を『支援』するとは	馬袋真紀（朝来市役所総合政策課 創生企画係長） 奥河洋介（HITOTOWA INC ディ レクター）	36 名
10 月 24 日（水）	ジチラボ vol.3 地域福祉とまちづくりの連携・協 働を考える	竹端寛 （兵庫県立大学環境人間学部准 教授）	21 名
11 月 22 日（木）	ジチラボ vol.4 視察レポート"地域運営組織と中 間支援@岩手"	法人スタッフ 柏木登起・木上裕貴	14 名
12 月 7 日（金）	ジチラボ vol.5 地域自治のツボどころ	作野広和 （島根大学教育学部教授）	21 名

【ジチラボ plus 実施内容】

日 時：2019 年 3 月 3 日（日）13 時 30 分～17 時 30 分

場 所：複合型交流拠点ウィズあかし学習室 801・フリースペース

参加者：61 名

プログラム：

第1部 全体会 ゲストスピーカー 宇都宮大学 石井大一朝氏

第2部 分科会

	テーマ	分科会	コーディネーター	定員
分科会 1	地域運営組織の これから	・雲南市 板持周治 ・魚住まちづくり協議会 川島幸夫 ・竹の台地域委員会 浜尚美	戸田幸典	21 名
分科会 2	行政と支援者の 役割分担	・草津市 相井義博 ・宇都宮大 石井大朗	木上裕樹	23 名
分科会 3	福祉と地域づくりの 連携の可能性	・関西学院大 藤井博志 ・朝来市 馬袋真紀	佐伯亮太	18 名
分科会 4	中山間地域と都市部 の支援のあり方	・大阪 NPO センター 小原忠義 ・人・まち・住まい研究所 浅見雅之	柏木登起	11 名

第3部 全体会まとめ

(4) 視察・研修など

全国の地域支援の状況や、先進事例となる地域への視察をおこなった。連合まちづくり協議会の視察（菅原東）や雲南市、一関市に出向いた。

6. 広報

明石コミュニティ創造協会や複合型交流拠点ウィズあかしを広く市民に知ってもらうため、情報誌の発行やホームページの開設など知名度の向上に努めた。SNS を活用したことで、講座の案内や、センターでの出来事を迅速に伝えられるようになった。また、ウィズあかし、法人ともにホームページを見やすくリニューアルした。

① ウィズあかし、コミ創ホームページの改修・運営

ポータルサイト「まちナビ AKASHI」内にウィズあかしページを作成し、主催事業や貸室の案内などを掲載している。2018 年度末に、より一層見やすく、わかりやすくなるようリニューアルした。

◎年間アクセス数：181, 224pv

② イベント情報紙 With の創刊・発行

ウィズあかしのイベントや情報を発信する情報紙として毎月発行している。登録団体のイベント情報や主催事業のレポートに加え、登録団体と「みんなの講座」で講師デビューをした方のインタビューコーナーを特設。毎月 1200 部を発行している。

③ 各種 SNS (Facebook、Instagram、Twitter) の運用

各種 SNS を活用して、スピーディーな情報発信に努めた。特に講座の募集情報や貸室の休館情報は、SNS での情報拡散によってこれまで届かなかった方に伝えられている。また、他施設や団体ともフォローし合うことで、お互いの情報交換や拡散につながっている。

・フォロワー数 Facebook : 364 Instagram : 38 Twitter : 150

④ ショップカードの作成

ショップカード (ウィズあかし、女性のための就業相談、男性のための電話相談) により、ウィズあかしの情報にすぐにアクセスでき施設利用や講座やイベントへの参加につながっている。

7. 視察受け入れ、講師派遣等

ウィズあかし運営、地域支援、市民活動支援などの複合的な動きについて多数の視察、講師依頼を受けた。

【視察受け入れ実績】

日時	視察者	内容	人数
4月17日(火)	丹波市議会総務常任委員会 まちづくり部 教育部 議会事務局	複合型交流施設 ウィズあかしが担う 市民活動支援の役割について	11人
4月27日(金)	伊丹市議会 公明党会派	男女共同参画の取り組み、および女性 活躍等	4人
5月17日(木)	同和・人権推進課長及び主査	あかし男女共同参画センターについて	2人
6月22日(金)	BANBAN ネットワークス (株)	公共施設の運営 地縁組織への取り組み 市民活動団体への支援の取り組み	3人
10月26日(金)	伊丹市参画・協働グループ	地域事務局の支援について 明石市の協働のまちづくり施策への市 とコミ創の関わり方について	2人
10月31日(水)	地域運営組織の形成及び持続的な運営 に関する研究会 有識者委員 同 事務局	地域運営組織の形成及び持続的な運営 に関する調査	9人
11月8日(木)	岸和田市企画調整部企画課	当法人におけるコミュニティ事業につ いて	3人
11月20日(火)	丸亀市コミュニティ協議会連合会 丸亀市連合自治会役員	明石コミュニティ創造協会に活動につ いて	20人

12月5日(水)	丹波市市民活動中間支援人材研修プログラム	ウィズあかしの運営について 地域自治組織への支援内容について	9人
12月18日(火)	西条市市民活動支援センター	・明石市での校区まちづくり組織の設置背景 ・所轄部署との連携・調整方法 ・校区まちづくり組織の設立、運営までのサポートの流れ ・まちづくり勉強会「明石の小学校区のまちづくり」の内容	1人
1月23日(水)	東大阪市市民協働室	地域自治の中間支援組織について	6人
2月24日(日)	丸亀市岡田コミュニティ (和坂まち協にて受け入れ)	明石市の市民活動推進について 和坂校区まちづくり協議会について	20人

【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	6月5日(火)	明石市市民生活局市民協働推進室 生涯学習課明石シニアカレッジ	まちづくり～ワクワク楽しく活動するヒント～	柏木登起
選考委員	6月5日(火)	明石市福祉局地域総合支援室地域 総合支援担当	明石市シニア活動応援事業補助 金選考委員	柏木登起
講師	6月20日(水)	地域づくり団体全国協議会	「平成30年度地域づくり団体 全国研修情報交換会 in 兵庫」事例発表	柏木登起
相談会	7月5日(木)	大久保子育て支援センター	出張就業相談	竹坊由理
講師	7月29日(日)	市民自治あかし	市民まちづくり連続講座 in 明石 ①「小学校区の「協働のまちづくり組織」はいま…」	柏木登起
相談会	9月6日(火)	大久保子育て支援センター	出張就業相談	竹坊由理
講師	10月6日(土)	自治研中央推進委員会	第37回地方自治研究全国集会 第12分科会 「新しい公共のあり方「住民協働」の理想と現実」	柏木登起
講師	10月11日(木)	認定特定非営利活動法人大阪 NPOセンター	中間支援組織人材養成セミナー 「中間支援人材としての心構え」	柏木登起
講師	10月27日(土)	大阪商業大学 「地域政策特殊講義」	明石市の地域自治の取り組みと 明石コミュニティ創造協会の役割	柏木登起
講師	12月12日(水)	大阪市淀川区所市民協働課生涯学 習担当	淀川区生涯学習事業関係者対象 講演会「市民をエンパワメント する生涯学習の可能性と市民の 巻き込み方」	柏木登起
講師	12月16日(日)	地域運営組織等研究会	地域運営組織を中心としたガバ ナンス・ネットワークの実証分 析「都市の地域運営組織の現状	柏木登起

			と課題」	
講師	1月12日(土)	東はりまコミュニティがく団	「いいね！」でつながる Facebook 活用講座	宮内 龍太郎
講師	1月22日(火)	稲美町生涯学習課	住民が主体になれる参加型まち づくり ～明石市での実践から～	佐伯亮太
講師	1月29日(火)	内閣官房まち・ひと・しごと創生 本部事務局／内閣府地域創生推進 事務局	平成30年度「小さな拠点」づ くり全国フォーラム「地域運営 組織の設立・運営のプロセスデ ザイン」	柏木登起
相談会	2月7日(木)	大久保子育て支援センター	出張就業相談	竹坊由理
パネ リスト	2月9日(土)	一般社団法人大阪公共サービス政 策センター	災害から見えてきた行政・地域 課題についてのシンポジウム	柏木登起
講師	2月11日(月)	有限責任事業組合まちとしごと総 合研究所	深草まるごとつながりネットワ ーク	佐伯亮太
講師	2月11日(月)	堺市自治連合協議会	住民参加のまちづくり～自治会 担い手創生・加入促進	佐伯亮太
パネ リスト	3月17日(日)	一般社団法人大阪公共サービス政 策センター	パネルディスカッションー地域 活動の活性化をめざしてー	木上裕貴
原稿執筆	—	大阪市政調査会	地域社会の新しい動きをどう支 援するか	佐伯亮太
委員会	通年 (年4回)	明石市福祉局こども育成室放課後 児童クラブ担当	放課後児童クラブのあり方検討 プロジェクトチーム	柏木登起

【インターンシップ受入れ】

丹波市市民活動中間支援人材研修プログラムからの依頼によって、当法人の地域支援についてインターンシップを受け入れた。

◎期間：2019年2月2日～2月7日、2019年2月22日～2月23日

◎人数：2名

【トライやるウィーク受け入れ】

トライやるウィークとして、中学生2人を受け入れた。

◎期間：2018年6月5日～6月8日

◎人数：2名

8. 法人管理

1. 人員体制 ※2019年3月31日現在

【役員体制】

評議員：入江一恵、川島幸夫、橋本浩司、山田信彦、山本洋子

理事長：藤川忠史（常勤理事）

常務理事兼事務局長：柏木登起（常勤理事）

理事：澤井康樹、竹内利江、久隆浩、福田ひとみ、山下孝光

監事：乗鞍良彦、藤田道広

【スタッフ】

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 10 名、パート職員 9 名

2. 会議体

【評議員会】

第 17 回評議員会（6 月 27 日）：2017 年度事業報告、2017 年度決算承認

第 18 回評議員会（3 月 27 日）：2019 年度事業計画（報告）、2019 年度予算（報告）

第 19 回評議員会（3 月 27 日）：役員変更

【理事会】

第 19 回理事会（6 月 6 日）：2017 年度事業報告、決算報告、評議員会の開催等

第 20 回理事会（11 月 11 日）：2018 年度補正予算、各種規程類の改定

第 21 回理事会（3 月 7 日）：2019 年度事業計画、2019 年度予算、各種規程の改定等

第 22 回みなし理事会（3 月 31 日）：理事長の選定

【その他の会議】

- ・理事運営会議（年 6 回開催）
- ・職員全体会（毎月第 1 月曜に開催）
- ・その他各チーム別会議等（随時開催）